

堤防に当たり波しぶきを上げながら押し寄せる津波(あさひパークゴルフ場付近)



いいおか荘前も一面波にのまれる



追い掛けられ足元まで迫る津波



車も船も全て海の中



真っ黒な波の塊が海匠漁協市場を襲う



堤防を乗り越え漁船へと津波が迫る



津波にもまれる漁船



1階部分は海中に沈んだ

あれからいったん、気が付くと自分は仏壇を背にして座っていました。家の中はめちゃくちゃ。「は」として、再び息子の名を叫びましたが、やはり返事はありません。辺りは真っ暗で動くこともできず、とにかく大声で助けを呼びました。しばらくすると、その声に消防隊員が気付いて、助けに来てくれました。息子も奇跡的に別の場所で救助され、消防飯岡分署の2階で再会できました。

第1波のときは、玄関先がぬれた程度。「これで終わりだろう」と、これ以上の津波が来るとは思ってもいませんでした。



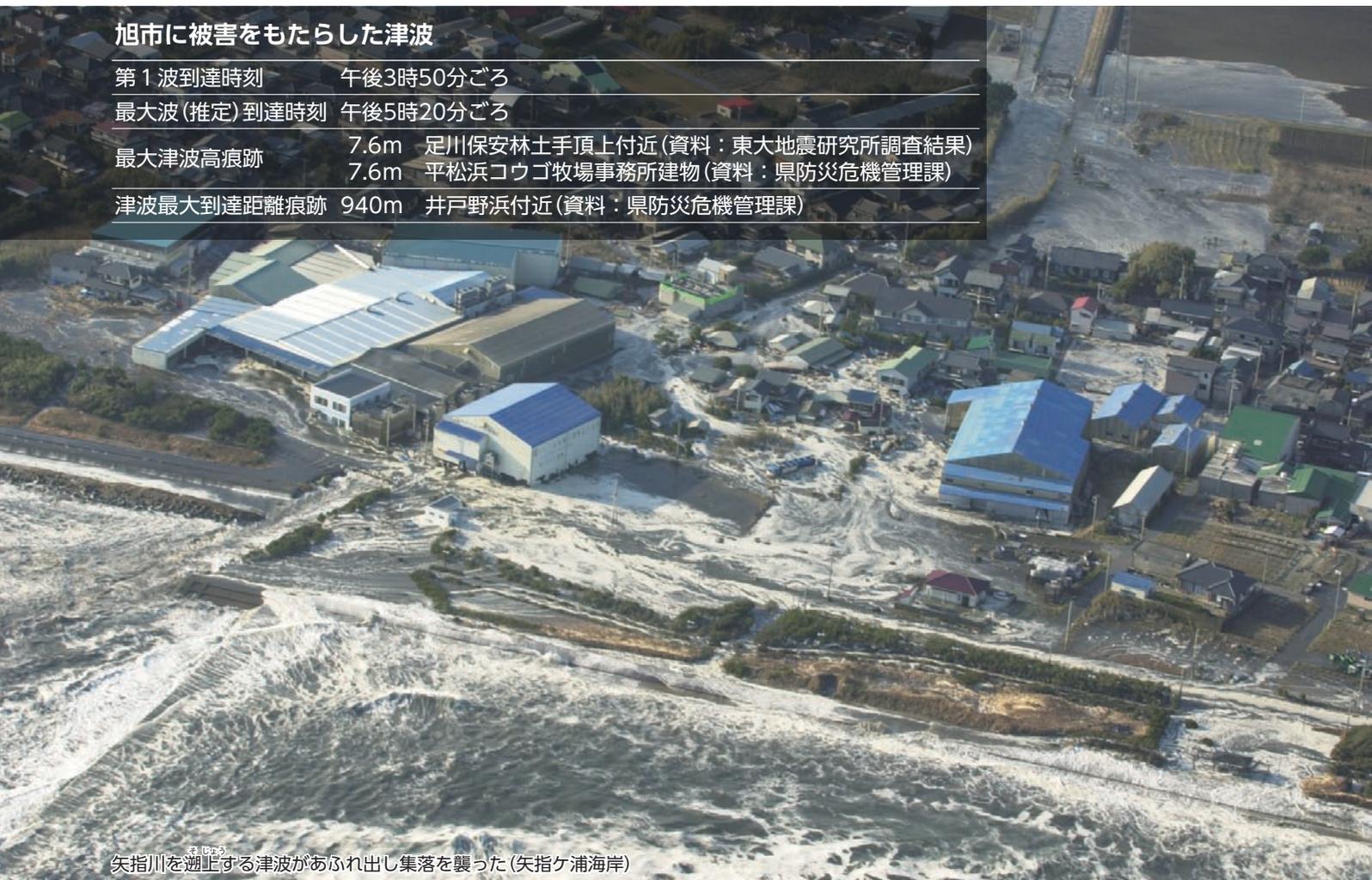
小野芳子さん (横根)

第1波で
終わったと思いました

インタビュー Interview

旭市に被害をもたらした津波

| | |
|-------------|---|
| 第1波到達時刻 | 午後3時50分ごろ |
| 最大波(推定)到達時刻 | 午後5時20分ごろ |
| 最大津波高痕跡 | 7.6m 足川保安林土手頂上付近(資料:東大地震研究所調査結果) 7.6m 平松浜コウゴ牧場事務所建物(資料:県防災危機管理課) |
| 津波最大到達距離痕跡 | 940m 井戸野浜付近(資料:県防災危機管理課) |



矢指川を遡上する津波があふれ出し集落を襲った(矢指ヶ浦海岸)



第1章 被災の記憶

大津波の襲来

午後2時49分、九十九里沿岸にも津波警報が発表された。午後3時14分には大津波警報に切り替えられ、同時に防災行政無線からは、市内全域に避難勧告が出された。

午後3時13分、銚子市に第1波の津波が到達。銚子地方気象台の巨大津波観測計は2・3mを観測した(資料:気象庁)。それから約37分後の午後3時50分ごろ、第1波と思われる大津波が旭市沿岸を襲う。一直線となった白波が、一気に堤防を乗り越え、押し寄せた。

近年、本市が経験した津波では、1960年のチリ地震で3・7m(飯岡)、2010年のチリ地震でも1・5m(飯岡)の津波が観測されている(資料:東大地震研究所)。しかし、どちらも波が堤防を越え、街に流れ込むことはなかった。

防災行政無線の通信記録によると、午後3時14分、大津波警報の発表と同時に1回目の避難勧告の放送がされ、それから午後4時44分まで、計13回にわたり、避難を呼び掛け続けていた。

それから35分後、午後5時19分に再び避難を呼び掛ける放送をした直後、地震発生から約2時間30分後の午後5時20分ごろ、最大波と思われる大津波が飯岡の街をのみ込んだ。

真つ黒い波が、高さ4・5mの堤防を乗り越え、集落へと押し寄せた。津波は、海岸付近の平屋を丸ごとのみ込み、威力を落とすことなく街の奥へ奥へと流れ込んでいった。がれきと一緒に海水が、建物の1階部分を突き抜けた。津波は堤防から約250m離れた、飯岡小(避難所)の校門手前数十メートルにまで到達(飯岡小津波報告)。波が引いた後も、街の中にはしばらく海水が残っていた。暗くなった街の中には、建物の2階や倒壊した建物の屋根の上で、身動きできずに救助を待つ人々の姿があった。